

NCNPプレスリリース (<https://www.ncnp.go.jp/topics/>)

- 若年発症肺腺がんの一部にBRCA2やTP53遺伝子の遺伝的要因が関与することを解明
日本人の若年発症肺腺がんを対象とした初の大規模ゲノム解析の成果
NCNP・国立がん研究センター等(共同) MGC部長 服部 功太郎 (7/9 リリース)
- 世界初 環境中のナノ粒子から脳を守る「防御システム」を解明
～微小粒子が引き起こす脳の神経毒性に対する保護メカニズムをマウスで発見～
NCNP・東京大学(共同) 神経研究所 疾病研究第二部 部長 小山 隆太、研究員 大柿 安里 (7/17 リリース)
- 複雑性PTSDに対する心理療法(STAIR Narrative Therapy)の成果<第2報>
～認知機能の改善への期待～
NCNP等(共同) 精神保健研究所 名誉所長 金 吉晴、行動医学研究部 研究員 丹羽 まどか、部長 堀 弘明 (7/23 リリース)
- 思春期にオンラインゲームを不適切に利用すると抑うつ・不安・精神症・幸福度低下につながることを確認
NCNP・東京都医学総合研究所・東京大学(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 室長 成田 瑞 (8/8 リリース)
- 人間の耳に聴こえない超高周波を豊富に含む音が自律神経の調節機能を高めることを発見
～自律神経障害に対する「情報医療」の開発に期待～
NCNP 神経研究所 疾病研究第七部 部長 本田 学、研究員 河合 徳枝、研究員 城々崎 小都 (8/13 リリース)
- 低酸素状態が抹消神経損傷後の再生を促進するメカニズムを解明
NCNP 神経研究所 疾病研究第五部 部長 荒木 敏之、室長 若月 修二、研究員 氏家 悠佳 (8/14 リリース)
- 神経性過食症女性に治療者誘導型オンライン認知行動療法を提供して過食と代償行動エピソードを減らすことに成功～アセスメント盲検・多施設ランダム化比較試験～
NCNP・等(共同) 精神保健研究所 行動医学研究部 室長 井野 敬子、室長 関口 敦、研究員 船場 美佐子 (8/25 リリース)
- 周産期のストレスが、胎児の垂鉛低下による炎症を介しADHDの発症に関与する可能性を解明
-ADHD症状のはじまりが出生前の栄養と炎症にあることを示す新たな知見-
NCNP・浜松医科大学(共同) 精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長 高橋 長秀 (8/27 リリース)

Nature



NCNP四季便り

トランスレーショナル・メディカルセンター
永井 秀明

ヤマイモのムカゴ(山芋の零余子)

ヤマイモは秋になると茎に直径1センチほどのムカゴをつけます。

ムカゴは地面に落ちてヤマイモになる、いわゆる栄養繁殖をします。

そのままでも美味しいですし、塩ゆでもいけます。漢字名は「零余子」。

零:ぽとりと落ちる、余:種とは別の、子、という意味だと思えます。

そんなにひねった漢字を充てなくても、読み通りの「無果子」でいいのにとっと思ってしまう。



NCNP 診療ニュース

T O P I C S

医療連携懇談会を開催します

2025.10
Vol.46

専門疾病センター紹介①

総合てんかん
センター

専門疾病センター紹介②

睡眠障害
センター

専門疾病センター紹介③

認知症
センター

専門外来紹介

rTMS
専門外来



医療連携懇談会を開催します



この度、医療連携懇談会を開催いたします。新型コロナウイルス感染防止のため、一時期開催を休止していましたが、昨年度再開し、多くの医療機関、連携機関の皆さまにご参加いただきました。今年も、さらなる連携強化、地域医療の発展のため、皆さまとの顔の見える関係づくりのきっかけとして、多くの方にご参加いただきたく、お知らせ申し上げます。

ご参加を、心よりお待ちしております。

開催概要

令和7年10月30日(木) 19:00～(18:30開場)

第一部 各診療科よりご挨拶

脳神経内科のご紹介

特命副院長 脳神経内科部長 高橋 佑二

第二部 懇親会

ささやかではありますが、軽食等の用意がございます

会場 国立精神・神経医療研究センター

教育研修棟1階ユニバーサルホール

申込方法はご送付のチラシをご覧ください。

国立精神・神経医療研究センター病院

医療連携懇談会

お申込み
QRコード
https://forms.office.com/r/UhMUIA47n7
お申込み締切 2025年10月10日(金)

日時 2025年10月30日(木) 19:00 (18:30開場)

場所 国立精神・神経医療研究センター
教育研修棟 (1Fユニバーサルホール)

内容 【第一部】 19:00～ 各診療科よりご挨拶
19:20～ 脳神経内科のご紹介
特命副院長 脳神経内科部長 高橋 佑二
【第二部】 19:45～ 懇親会 ささやかながら、軽食の用意がございます。
20時45分頃 終了予定です。

お申込み QRコード または裏面のFAX、メールにてお願いいたします。

主催 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1

ご案内チラシ

医療連携懇談会参加申込書

参加ご希望の方は10/10(金)までにお申込みをお願いいたします

FAX 042-346-1681 E-mail renkei@ncnp.go.jp

ご施設名:

お名前 役職

お名前 役職

お名前 役職

お名前 役職

【お問合せ】
国立精神・神経医療研究センター病院 地域連携室 TEL: 042-346-1845 FAX: 042-346-1681

個人情報について：ご記入頂いた個人情報は、医療連携公開講座の受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。個人情報の取扱い、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターの保有する個人情報の保護に関する規定に則り、厳重に管理いたします。

FAX 送付用紙見本

専門疾病
センター紹介

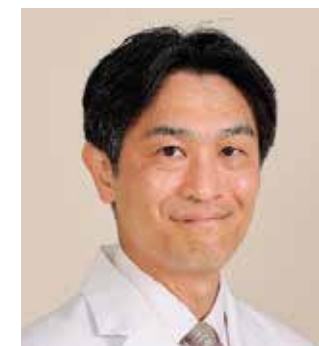
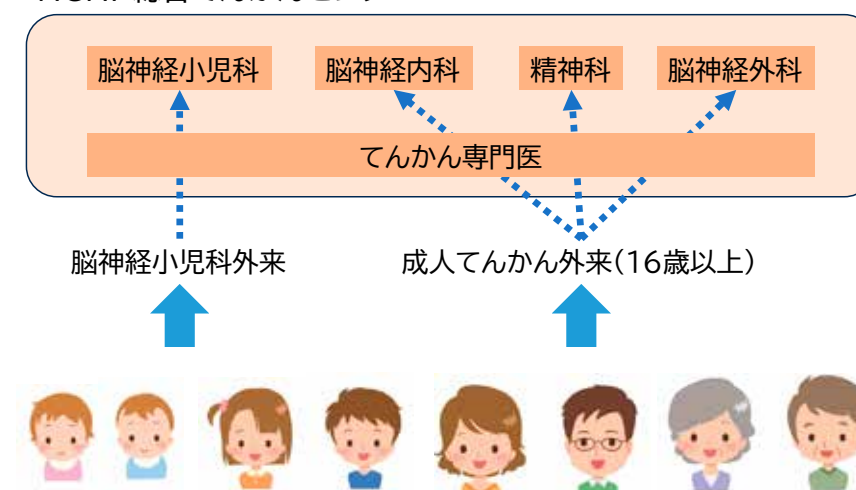
総合てんかんセンター



様々な診療科・職種の連携で 患者さんのニーズに応える

NCNP総合てんかんセンターは、病院と研究所のスタッフで構成されており、てんかんの診療、心理社会面の支援を中心に、てんかんの臨床・基礎研究、教育・啓発活動を行っています。診療は、てんかん常勤専門医を中心に、乳児期から成人・高齢者のすべての年齢層を対象に、難治例を含むてんかんの治療を行っています。外科治療もわが国随一の実績を誇っており、小児、特に乳幼児のてんかん手術が多いのが特徴です。また、研究所と協力して、てんかんの病因究明と新規治療法の開発などの研究活動を行っています。厚労省のてんかん地域診療連携体制整備事業の全国拠点と東京都てんかん支援機関として、てんかんの地域連携体制の構築や、てんかん遠隔オンライン診療をすすめています。

NCNP総合てんかんセンター



脳神経外科部長 総合てんかんセンター長
岩崎 真樹

てんかん発作を知ろう！

てんかん発作への対応YouTube動画(和島香太郎監督)



大人編 てんかん発作の対応【国立精神・神経医療研究センター】



子ども編 てんかん発作の対応【国立精神・神経医療研究センター】



てんかん研究・診療の進歩
(著者) 中川 栄二 岩崎 真樹 谷口 豪

専門疾病
センター紹介

睡眠障害センター



専門性の高い睡眠医療を提供いたします

睡眠障害センターは、様々な睡眠の悩みをお持ちの方を全国から受け入れており、昨年度は600名を超える新規患者さんが受診されました。外来診療、専門的な検査、入院治療を実施可能な体制を整えて専門性の高い睡眠医療に取り組むとともに、抑うつ症状への速やかな効果が期待される覚醒療法(修正型断眠療法)プログラムなど、最新のエビデンスに基づいた介入も実施しています。

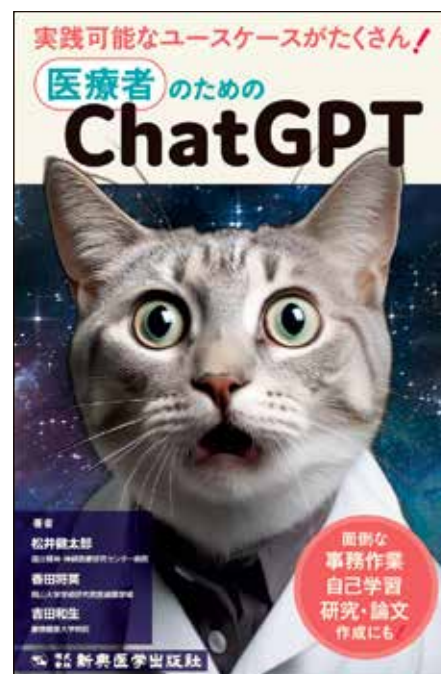


睡眠障害センター センター長
臨床検査部 睡眠障害検査室 医長
松井 健太郎

- ナルコレプシーを含む中枢性過眠症の診断・治療
- 夜間の異常行動を生じる睡眠時随伴症の診断・治療
- 睡眠・覚醒リズムの是正を目的とした入院治療
- 初期治療で改善しない不眠症状への対応



「眠りと目覚めのコラム」連載中!



「医療者のための ChatGPT」好評発売中!
<https://amzn.asia/d/5y0bmf5>

専門疾病
センター紹介

認知症センター



最新の認知症治療の提供とともに、地域支援、人材育成にも尽力

認知症センターは、①もの忘れを心配している人や認知症の人のための専門的な診療、②認知症や介護に関する正しい知識の普及・啓発、③治験・臨床研究等の推進を三本柱に、幅広い取り組みを行っています。東京都からの指定を受け、地域連携型(小平市)認知症疾患医療センターとしての役割も担っています。

「もの忘れ外来」では、脳神経内科医と精神科医がそれぞれの専門分野を活かし、診断と治療、行動・心理症状(BPSD)等への対応を行い、地域の医療機関に逆紹介しています。抗アミロイドβ抗体医薬(レカネマブ、ドナネマブ)による治療、その適否を判断するための検査も行なっています。認知症看護認定看護師とソーシャルワーカーが、受診や治療、介護に関する専門的な医療相談を担当し、患者さんご家族の不安や疑問、医療機関からのお問い合わせに対応しています。軽度認知障害(MCI)を対象とした取り組みも積極的に行っており、認知症の進行を予防するためのリハビリテーションプログラムを実施しています。

また、認知症の早期発見・早期介入のため、小平市と連携して初期集中支援チーム、「小平市もの忘れ相談会」、簡単なテストと認知症予防のための講演を合わせて行う「もの忘れチェック会」を行なっています。必要に応じて受診をご案内するなど、地域の方々が適切な医療や介護サービスにつながるよう取り組んでいます。

認知症カフェ「オレンジカフェ」を毎月第4水曜日に開催しています。当院のカフェには専門医、看護師、公認心理士なども参加しており、治療や介護の困りごとについて専門家の意見を聞くこともできるのが特徴です。オンライン



認知症センター長 司法精神診療部 医長
大町 佳永^{1,2)}

野崎 和美^{1,3)} 藤巻 知夏^{1,2)}
1) 認知症センター 2) 司法精神診療部 3) 看護部

でも参加できます。

「認知症月間」である毎年9月には、地域の皆様を対象とした公開講座、ミニコンサート、認知症サポーター養成講座などを開催しています。また、医療・介護従事者向けの研修会も開催し、認知症に対応できる人材の育成に取り組んでいます。

研究においては、認知症に関する臨床研究のハブ(中核)として、新薬開発のための治験、バイオマーカー等の診断、予防、BPSDへの対応といった様々な臨床研究に取り組んでいます。

皆様との連携のもとで、認知症の人ご家族が安心して暮らせる地域づくりに貢献したいと考えております。患者さんご紹介など、ご遠慮なくお問い合わせください。

診療
もの忘れ外来
専門医療相談

普及・啓発活動

治療・臨床研究

もの忘れ外来

	月	火	水	木	金
AM	●		●		●
PM	●			●	

週10～17枠、完全予約制です





rTMS の専門的かつ最新の治療を 患者さん一人ひとりの状態に応じて判断・提供する

国立精神・神経医療研究センター(NCNP)では、『反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS療法)』を専門的に扱う外来を設置しています。この外来では、rTMSに関するご相談を受け付けるだけでなく、適応判定や治療への導入までを、rTMSに精通した精神科医師が担当いたします。

rTMS療法とは、専用の医療機器を用い、頭皮に磁場を繰り返し作用させることで、特定の脳領域の神経活動を変化させ、うつ病症状の改善を図る非侵襲的な神経調節法です。外科的な手術を伴わず、全身への影響が少ないため、従来の治療抵抗性のあるうつ病の代替手段として広く注目されています。

本外来の対象となるのは、「十分な薬物治療を行っても効果が得られていない、中等症以上のうつ病」の患者さんです。主治医よりrTMS療法が検討された場合や、自ら治療について知りたいと希望される方は、まず当外来にご相談ください。

ただし、以下のような場合にはrTMS療法は適さないことがあります。頭部に磁気に反応する金属を装着している方や、ペースメーカー使用中の方、既往にてんかん発作がある方、さらには妊娠中の方などは、安全性を踏まえ慎重な判断が必要です。また、18歳未



ニューロモデュレーションセンター
センター長・精神診療部長 野田 隆政
精神科医長 林 大祐
精神科医員 五十嵐 俊
精神科医員 熊谷 航一郎

満や過去に同エピソードでrTMS療法を受けた経験のある方、認知症や器質性気分障害など、特定の精神・神経疾患の方も対象外となる場合があります。

本外来では、まずrTMS療法の概要や有効性、安全性について丁寧に説明し、個別の適応を包括的に判断します。さらに、保険適用外の場合でも、現在実施中の臨床研究をご案内することが可能ですので、研究目的での受診を希望される場合にも対応いたします。

医師・医療スタッフの皆さまには、rTMS療法が従来の薬物療法に反応しにくいうつ病例に対して、他の治療と併用しながら安全かつ柔軟に提供できる有力な選択肢であることをご理解いただければ幸いです。症例によっては、日帰りの実施可能な点もrTMS療法の利点です。

本外来は、rTMSの専門的かつ最新の治療を、患者さん一人ひとりの状態に応じて判断・提供する体制を整えており、より良い治療効果を目指しております。ご紹介やご相談の際は、お気軽にrTMS専門外来をご活用ください。



患者さん優先 無料シャトルバスの のりばのご案内



発着所



西武新宿線・拝島線 多摩湖線

Seibu Shinjuku Line, Haijima Line,
Tamako Line

萩山駅

“Hagiya” Station

南口・ロータリー前
In front of rotary at South Exit

萩山駅発	
8時	30
9時	00 45
10時	15 45
11時	15
12時	45
13時	15 45
14時	15 45
15時	15
16時	15



国立精神・神経医療研究 センター病院

National Center Hospital,
National Center of Neurology and Psychiatry

NCNP 病院

NCNP Hospital

ロータリー前
In front of rotary

病院発		
	新小平駅方面	萩山駅方面
9時	10 50	40
10時	20 50	10 40
11時	20	10
12時	50	40
13時	20 50	10 40
14時	20 50	10 40
15時	50	10
16時	20	10



JR 武蔵野線

JR Musashino Line

新小平駅

“Shinkodaira” Station

けやき歯科クリニック付近
Near Keyaki Dental Clinic

新小平駅発	
8時	15 45
9時	20
10時	00 30
11時	00 30
12時	30
13時	00 30
14時	00 30
15時	00
16時	00

【お問い合わせ先】

国立精神・神経医療研究センター病院 広報室➡TEL:042-341-2711 (内線 5601)

平日(月～金曜日)のみ運行致します
土日祝日は運休となります